

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
福祉住環境コーディネーター対策											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選	種別	演習	時間数	30	単位	2
担当教員	杉浦文美			実務 経験	有	職種	構造設計				
授業概要											
福祉住環境コーディネーター資格の試験に対応した演習問題を中心に取り組みます。											
到達目標											
高齢者や障がい者が暮らしやすい環境となるよう、建築だけでなく、医療・福祉の分野の幅広い知識を身に付け、福祉住環境コーディネーター3級合格を到達目標とする。											
授業方法											
公式テキストに沿って講義する。授業は医療・福祉・建築の分野を体系的に幅広く、かつ総合的知識が身につくよう行われる。高齢者等のクライアントの千差万別なニーズに応えられるよう、各単元は複合的な視野から考えられる訓練を行う。また、建築計画1における住宅に関する知識や、建築一般構造1の軸組構法も関連しているので、復習しておくこと。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する。											
履修上の注意											
授業を遅刻・欠席しないこと。日ごろからバリアフリーやユニバーサルデザインについての知識を広げるよう心がけること。この授業で得た知識は、設計課題に積極的に生かすこと。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト											
回数	授業計画										
第1回	バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方										
第2回	生活を支えるさまざまな用具について										
第3回	住まいの整備のための基本技術（段差・床材・手摺・建具）について										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
建築学科	
福祉住環境コーディネーター対策	
第4回	住まいの整備のための基本技術（幅・家具・冷暖房・非常時の対応・維持管理）について
第5回	屋外移動・屋内移動・排泄・入浴について
第6回	清掃・洗濯・調理・就寝・妊娠に対する配慮について
第7回	ライフスタイルの多様化と住まいについて
第8回	安心できる住生活について
第9回	安心して暮らせるまちづくりについて
第10回	地域で取り組む福祉のまちづくり実践事例について
第11回	過去問を通して問題の傾向を知り、60%以上正解する
第12回	過去問を通して問題の傾向を知り、70%以上正解する
第13回	過去問を通して問題の傾向を知り、75%以上正解する
第14回	過去問を通して問題の傾向を知り、80%以上正解する
第15回	過去問を通して問題の傾向を知り、85%以上正解する